

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20T1
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 機能材料
研究開発課題名	: ナノ粒子を用いた屈曲可能な塗布型透明導電性シートの開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 坂本 雅典(京都大学)

評価結果の総合所見

本課題は、フレキシブルエレクトロニクスのデバイスに欠かせない透明導電膜の実現に向け、高い透明性と蒸着 ITO 級の導電性を兼ね備えた塗布型フレキシブル透明導電性膜の開発を目指すものである。概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。イノベーション創出が期待できる。産学共同研究やベンチャー企業設立など、順調に活動できているので、今後、コスト面も含めた更なる技術開発・事業化が望まれる。

以上